

七五三詣(しちごさんもうで)

七五三は、この歳ごろの祝いをする古くからの風習に由来するもので、代表的なものは3才の「髪置(かみおき)」で髪を伸ばし始める儀式で、5才の「袴着(はかまぎ)」で袴を着始め、7才の「帯解(おびどめ)」でそれまで付け紐で着ていた着物から帯でしめる着物にかえる儀式が七五三の宮詣になりました。

池尻稲荷神社は古くより「子育ての稲荷」として信仰されてきました。お子様の成長を感謝し、更なるご加護を祈願いたします。早期よりご予約を受け付けております。近隣の美容着付け・写真館・会食のご案内もしておりますので、お気軽にお尋ね下さい。

社務所 電話 03-3411-2141 (9:00~17:00)

E-mail でのお問い合わせはこちらから → <http://www.ikejiri-inari.com/contact/>

(ご祈祷のながれ)

- ①社務所控え室にて氏名記帳をします。
- ②社務所内の手水舎で手を清めて神殿に進みます。
- ③神殿にてお祓いの祝詞を奏上し祓い清めます。
- ④神殿にて七五三の祝詞を奏上し、もう一度祓い清めます。
- ⑤玉串を神前に供えて参拝します。
- ⑥お守り・記念品・千歳飴を授与致します。

※社務所内にて記念撮影の場所を設けております。

※初穂料は5,000円よりご随意です。



《写真・昨年の七五三の様子》



七五三御守



授与品メダル



千歳飴